

2013年8月8日(木)17:30~19:30

第2回認知症医療介護推進会議

診療科目における 「認知症科」の提案について

一般社団法人日本慢性期医療協会 会長
医療法人平成博愛会 博愛記念病院 理事長

武久 洋三

2013 日本慢性期医療宣言

1. 慢性期病床群の確立
2. 在宅医療連携拠点事業への主体的取り組み
3. リハビリテーション機能の充実
4. がん患者の慢性期治療
5. 認知症の包括的治療
6. 介護療養病床機能の充実
7. 診療機能に応じた適正な診療報酬の実現

日本慢性期医療協会の主要研修事業における認知症教育の取り組み

慢性期医療認定講座

対象：医師・看護職・コメディカル

「慢性期医療における認知症のケア
～抑制廃止を含めて～」

在宅医療認定医講座

対象：医師

「在宅医療における神経難病と認知症」

医療介護福祉士認定講座

対象：介護福祉士

「慢性期医療における認知症介護」

在宅療養家族講座

対象：患者ご家族

「認知症ケアの研修(実習)」

診療科目における「認知症科」の提案

今現在、認知症の疑いのある患者の家族は、どこを受診したらよいか迷っている状況である。いきなり精神科に行く人は少なく、内科のクリニックに行っても専門外と断られることもある。診療科目に認知症科があれば、迷うことなく、初期の段階から気軽に受診することが可能となり、初期治療の効果が期待できる。

将来300万人から500万人まで増加すると見込まれる認知症はリウマチ等よりも患者数は多い。一体どこを受診したらよいか迷っている初期の認知症患者の為に、診療科目に「認知症科」を認めるべき時期に来ている。日本慢性期医療協会としては強く要望するものである。